

磐城自治新報

發行日一月十五日(毎月二回)
編輯印刷 箱崎義一
兼發行人 箱崎義一
發行所 磐城自治新報社
天王崎四番地
電話四〇〇番
紙代 一部十錢送料共
廣告料五號十二字一行情五
十號場所指定金壹圓

清世界 釀造元
吉清水屋
小野 晋 平
電話六番

昭和四年を迎ふ

坤輿茲に一轉して、新春昭和四年は金鶏の聲より傳はり早くも吾人の門に來り、麗らかなる旭光は輝々として、惠風に飄へる日章國旗の竿頭に映じ、瑞雲空に懸りて霞々たり、地には松竹の綠濃やかに祥氣充ち満ち、四海波は靜かに、太平の御代を壽く、玲瓏として神代ながらの白雪を戴く富士の靈峰は凌雲中天に聳ゆる聖者の如く千古變らぬ我が國体の精華を現はす、千門万户皇運の無窮を祈り蒼生聖德を翼賛し奉る。

今や天地萬物一朝にして新たなる昭和四年の劈頭に立ちて前途を瞻望すれば、洋々として大海の如く、豈に雄心猛志の自ら鬱勃たらざるを得んや。顧みる昭和三年!!こは吾が地方に於ては實に呪はしき年なりき、銀行の休業相つぎ財界の恐慌を來さしめ民心の不安は其極に達し、有形無形の損失は言語に絶すべきものあり、實に慨嘆に堪えず、斯界に關係する者の衷心意を致すべき問題にして識者の憂慮措く能はざりしものあり、年改まるこ共には等の不安憂懼を一掃さるべきを念ず、吾が社は生れて今年最初の新年たり苟も一年の計は一月にあり、一月の計は元旦にあり、言古しといへども其眞理は新たなり、年々歳々人は徒らに舊りて、新年何がため喜び、何がため慶す、只に新衣を着し屠蘇に酔へる紅顔を春風に吹かしむるのみを祝するものにはあらず、年新たなるこ同時に、舊きを省み至らざりしを改め及ばざりしを補へ、全く新たなる心を入れ變へ以て初春に對する希望に燃ゆる精神を確立してこそ新年も實に目出度きものなれ、聖上陛下御即位の大典を行はせられたる昭和三年を送り、この新春を迎ふるに當り益々吾人國民はあらゆる方面に全力を盡し、金謳無欠なる我國光を、彌々宇内に輝かし、奮勵努力忠良なる臣民たるの心掛けや肝要なり、別けて吾人は自治の發達に意を致し、社會の木鐸たるの責任を盡さん事を誓ふ、殊に本年は普選第一回の市町村會議員の選舉の施行せらるるあり、最も重大なる關係をなす、吾人は飽く迄筆尖を磨いて啓發指導の先鋒たらん事を斯す、聊か蕪言を述べて年頭の辭となす。

謹賀新年

花井の譽釀造元
大平 陸 四郎
電話五十七番

都々逸
醉の郷
勿來町
釀造元 赤津 修 一
醉まし心よき銘酒かな

山家 朝
新玉の年の初日の
さしそひて
豊かに見ゆる
里の賤ガ家
小山田の里の煙に
初日かけ
豊かにこみ
御代をこほく
親子共に楽しく暮す
賤が家に
豊樂のほる
朝日かけさす
世の塵を逃れて住める
山のいほも
松の緑に照り
はえににけり

川 柳
久田 狂 水
新年の句
漁り火を後ろに
拜む初日の出
年賀狀郵便局で年をとり

福尾伊太郎
小名濱町

近藤 安雄
小名濱町

佐々木善作
小名濱町

郡司 一二郎
小名濱町

岩並 政雄
渡邊村村長

水野 定清
渡邊村村長

富岡錠吉郎
助役

高木倉松
收入役

永山 定秀
郵便局長

木村 宰協
渡邊村消防組頭

瀨谷 米吉
渡邊村

小野八太郎
渡邊村村會議員

鈴木 榮
小名濱町長

高木 保
助役

御代 武兵衛
磐崎村

濱街道 土木
業組合

丸山 慶治
石城郡平町

佐々木 健二
石城郡平町

時田子之吉
相馬郡小高町

御代 一番
元造 釀

御代 鶴
元造 釀

御代 武兵衛
磐崎村

濱街道 土木
業組合

丸山 慶治
石城郡平町

佐々木 健二
石城郡平町

時田子之吉
相馬郡小高町

御代 武兵衛
磐崎村

濱街道 土木
業組合

丸山 慶治
石城郡平町

佐々木 健二
石城郡平町

次に感じ、たのは教育の好条件もて日本人労働を要

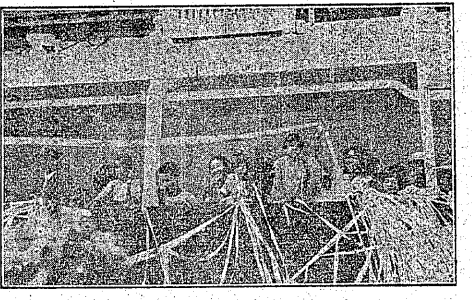


求してゐるが伯國と相容れ

生する所以は之等後継者を養

此度の旅行中自分が最も

門せられた時には一日この



此の如く、福島縣人の進

事の前的小事己れは死す

クオオバデー

世界は動く絶え間なく

サテ政治ハドウデアラウカ

湯本温泉 松 柏 館 比佐榮一 電話四四五番	溫泉旅館 常 陸 館 電話六番	湯本藝妓組合 組合長 若松利徳治 會計 平賀龜松	湯本三業組合 組合長 内山吉五郎	建築請負業 長谷川誠一	家屋移轉業 戸倉重次郎 湯本町	湯本町案内 松本精米所 松本正夫 電話七十一番	千葉精米所 千葉マサ 電話二十四番	比佐精米所 比佐金太	國井精米所 國井 貢	比佐精米所 電話四十八番 比佐左造	立花精米所			
勉強の親玉 佐藤履物店 佐藤清観	各種新聞取次 西丸新聞店 西丸豊造 電話六十七番	學用品販賣 本間勘太郎	小問物商 稻澤源助	湯本名物せんべい 小笠商店	白石興業部 白石熊次	古物商中買業 三瓶健次	各種酒類販賣玉の井 若松商店	古物商 高橋由兵衛	石 裁縫店 石 清	土木建築請負業 涌井恒昇 内郷村宮	熊谷彦信 好間村	前縣會議員 小松幹夫 龍田村		
小田鑛業株式會社 萩原甲八 山野邊 覺 鈴木常雄 熊谷武廣	好間村 村長 金成淺治 助役 高木秀彌 收入役 鈴木榮一	平町材木町 京屋洋服屋 電話八二八番	平町二丁目 清水屋書店 電話二二三番 振替東京五三八八番	各種便利瓦アスブルト 平日建商會 味岡子之松 電話五二八番	色彩鮮麗...ライオンキ けつりよい..... 地球印鉛筆書きよい神代筆 特約店	平町四ツ倉町 會社組合	雙葉郡木戸小學校 渡邊銳一							
四ツ倉小學校 馬場末松 鎌田安 高橋廣記 長谷川友太 石山晃 吉田茂	大浦小學校 二階堂誠一 佐藤三美 戸村記一 渡邊武	草野小學校 五十嵐信平 田仲市郎 江尻義夫 志賀豐吉	平第二小學校 赤津千里 長谷川政 佐藤文雄	赤井第一小學校 鈴木佐四郎 松崎政之助	小川小學校 田久徳次郎 草野政松	石城郡 第三區校長協議會	小田鑛業株式會社 菊地寅雄 吉江監 長橋藏							
古河好間鑛業所 宗像泰壽 梁瀬眞雄 岡本富造 村田欣吾 橋本新八 五十嵐清 岡部末藏	好間郵便局 木田彌作	小田炭坑 武藤忠雄 永井銀之助 菅野源四郎 小松學俊 四ツ倉町	依田市郎	内郷小學校 依田市郎	内郷第二小學校 堀 一 郎 高木憲平 飯塚文之助	入山病院囑託 全健保組合指定 産婆 松長サダ								
御料理 つた安 仕出し 電話四十六番 比佐保吉	入遠野 折笠利一	前町長 高木已之吉	金土重隆	郡農會議員 坂本文治	坂本佐内	大平市太郎	小久春太郎	高原運平	◆良品廉賣に勝る商略なし 磐城セメント會社特約店 和洋銅鐵釜屋商店 金物問屋 電話一三九番 磐城平電話一三九番 確實敏捷は釜屋の生命なり					
醬油味噌鯉節 醬油山崎合名會社 醸造元 電話四十六番 平町 營業部電話十番 工場二十七番 酒類罐詰食料品	東部電力株式會社 平營業所 所長 武田精一	ナゴリの味噌と醬油 升田屋本店 勿來町 赤津庄兵衛 電話一番	稻妻醸造元 古川傳一 植田町電話十六番	加藤徳治 石城郡澤渡村	横山直次郎 雙葉郡幾世橋村	田中義男 雙葉郡長塚村	只野忠康 石城郡平町							
高木綱次 石城郡赤井村	只野久次郎 相馬郡中村町	大平又太郎 石城郡山田村	松本勇平 石城郡平窪村	坂本梅吉 雙葉郡上岡村	常磐工業株式會社 石城郡植田町 横岡那雄	中山吉之助 石城郡植田町	強口唯七郎 石城郡好間村	萩野清吉 石城郡湯本町	品川白練瓦株式會社 湯本工場					